

沙門源空記『弥陀本願義疏』解題・翻刻

鈴木 英之

『弥陀本願義疏』は、『無量寿経』の阿弥陀四十八願のそれぞれに、七言四句の偈文とともに注釈を施したものである。題下に「沙門源空記」とあり、奥書に「建曆^辛二月八日」と記されることから、建暦元年（一一二一）に源空（法然）があらわした書物とされる。早くから仮託であると指摘され、成立年も判然としないが、南北朝末期頃には成立していたようだ¹。注目すべきは、本書が中世浄土宗における新たな教相判釈説「二蔵三法輪」の定着に大きな役割を果たしたことである。

二蔵三法輪とは、浄土宗第七祖・了誉聖罔（一一三四―一四二〇）の教相判釈説のことである（二蔵二教判、二蔵二教二頓判とも）。教相判釈説とは、自宗を中心として世にある諸教を位置付け、自宗の優位性を内外に知らしめるために用いられる教説のことで、代表的なものに天台の五時八教や華嚴の五教十宗などがある。浄土宗にも、曇鸞の難易二行や道綽の聖浄二門などの伝統的な教相はあったが、（善し悪しは別として）天台や華嚴同様の精緻な教相判釈説を有してはいなかった。それゆえ浄土宗の地位向上と、新たな宗義の確立を目指す聖罔によって創出されたのが二蔵三法輪である。

二蔵三法輪は、中世から近世に至るまで浄土宗の根本教義として重視された。だが「二蔵ノ名目ハ罔公ノ

私ノ名目也」(聖聡『浄土二藏鋼維義』)と、その真偽を疑う門弟の声が見られるなど、すんなりと宗学の根本として認められたわけではなかった。そこで、宗内の疑義を断ち切り、新たな教学の定着を図るために用いられたのが本書である*2。

『弥陀本願義疏』には、二藏三法輪に関する記述を第十八願と跋文に見ることができる。なかでも跋文は、法然と解脱房貞慶との往復書簡という特異な体裁をとり、二藏三法輪の伝来の確かさと、それを重視すべきとの秘伝が語られていることが知られている。

跋文によれば、ある夜、法然の夢中に善導があらわれ「二藏三輪」を用いるべきこと、さらには「先來教相」に依拠する必要はないことを告げたという。夢から覚めた法然は、以後は「難易聖浄之名目」(難易二道、聖浄二門)といった従来の教相をやめて、「二藏三輪之教相」を旨とするようになったとされる*3。当時流布していた善導から法然への夢中相承説をもとに述べられたものだが、教判に関するくだりはもともと存在せず、二藏三法輪を宣揚するために加えられた改変と考えられる。

聖岡の高弟・西誉聖聡(浄土宗第八祖)は、本書にもとづき、

若依此秘伝者、上人直承光明大師御相承名目也。*4

と、二藏三法輪は、上人(法然)が光明大師(善導)から直接相承されたものだとし、その正統性を主張した。また別の箇所では、『本願義疏』の相伝を知った聖岡が、歡喜のあまり涙で袖を濡らしたことが弟子の視点から語られるなど、聖聡が、善導・法然以来の伝統を語り、さらには師の言行までも説話化することで、聖岡教学の真实性の保証としていたことがわかる*5。『弥陀本願義疏』は、聖岡・聖聡らの教学整備の

過程とともに検討することで、中世の浄土宗における新たな教義の定着の過程を生々しく知ることができる好資料といえることができるのである。

【注】

*1 『弥陀本願義疏』の先行研究としては、徳澤龍泉「弥陀本願義疏」と「弥陀本願義」とについて（『龍谷学報』三〇九、一九三四・六）がある。本書は、早くは近世の浄土僧・成譽大玄（一六八〇〜一七五六）の『浄土頌義探玄鈔』で「偽造」とされ（『浄土宗全書』十二、六一五頁下）、また望月信亨氏によって、文義が蕪雑で疑うべきものが多く、明らかに「中世宗学者の口吻」であると指摘されている（望月信亨「法然上人の著作法語並に其の真偽」、同『浄土教之研究』金尾文淵堂、一九二二・八。日本図書センター一九七七・一復刻。七〇六頁参照）。なお、寛文八年版本が『浄土宗全書』十四、『昭和新修法然上人全集』で既に翻刻されている。解題も含めこちらも参照されたい。

*2 聖岡・聖聡は、『本願義疏』をはじめとした様々な仮託文献を使用していた。これについては、拙稿「聖岡教学における聖徳太子」、同「伝聖徳太子述作『説法明眼論』の性格と流布」（拙著『中世学僧と神道——了誉聖岡の学問と思想』、勉誠出版、二〇二二・八）、同「菩提流支三蔵所造『麒麟聖財立宗論』解題・翻刻——中世浄土宗における仮託文献について——」（『論叢 アジアの文化と思想』二〇、二〇二二・一二）、服部英淳「了誉聖岡の教学体系に関する述作 解説」（『浄土宗全書』十二、山喜房一九七二・二）、望月前掲「法然上人の著作法語並に其の真偽」など参照。

*3 同説が、聖覚『四十八願釈』にも見られる。聖覚の名は、聖阿の教学書中にもたびたび登場し、法然と並んで、聖阿教学の正統性を保証するための重要人物として位置付けられていた。本書頭注によれば、十三箇所に『四十八願釈』の引用が見られ、両書の密接な関係をうかがうことができる。

*4 聖聡『浄土二蔵鋼維義』（『浄土宗全書』十二、五七四頁上）参照。

*5 聖聡『浄土二蔵鋼維義』（『浄土宗全書』十二、五七三頁下）参照。管見の限り、『本願義疏』の使用は聖聡著作に集中しており、聖阿著作に直接的な引用は見られない。同時代の人物としては、名越派の良栄（？・一四二三）『往生礼讚私記見聞』にも「本願義疏」の名が見えるが、本書に同文は見られず、取意文か同名異書と考えられる（『浄土宗全書』四、六八五頁上）。

【書誌】

・筆者家蔵『弥陀本願義疏』の翻刻。無刊記本だが、凡例中に寛文八年版本が「今本」として紹介されていることから、それ以降（二六六八年以降）の刊行とわかる。「金剛窟」なる僧坊が蔵する「旧板」「昔本」「今本」の三本と、「古本」（聖覚『四十八願釈』）とを対校したもので、写誤の多い『本願義疏』の校訂本文として役立つ。また訓点が全編にわたって詳細に付されており、本格的な読解を行う上でも有益な一本といえる。

・湖東 金剛窟蔵。無刊記本。

・縦二六・八cm×横一八・七cm。楮紙。袋とじ。

・二十字×十行。全四十八丁。 墨・朱の書き入れあり。

【凡例】

一、翻字は、原則として通行の字体を用いた。

一、行は追いこみとし、半丁ごとに『』を付した。

一、字下げ・改行は、原則として底本の体裁にしたがった。また読点を私に補った。

一、訓点は、底本にあるものをすべて附し、シテ、トモ、トキなどの合字はすべて開いた。

一、欄外には、四角囲みで板刻されている頭注と、墨で書き込まれた諸本との対校がある。墨書は凡例と対応しており、刊行当初から記入されていたものと考えられるが、ここでは頭注のみ翻字した。

校重
彌陀本願義疏 全

凡例

- 一 坊本多種^{アチ}。二本三類六別^{アチ}。二本者謂缺冊通篇^ト。具本有^レ二。併為^三三類^ト。三各有^レ一。是六別也。
- 一 十行四十六紙之本即缺冊是也。闕^三願二頌^ト。寫誤最甚^シ。板本之始故言^三旧板^ト。今以^三鱗形^ト印^レ之。
- 一 九行五十四葉之本即通篇是也。不^三但無^二脱落^ト。二本對檢則知^レ彼安樂字乃是此案字彼无殊元是天珠形誤彼廿八是娑婆改形^{ナルコトヲ}。涇渭区分蓋其臨書自別^ヲ。各隨^レ所^レ得臨^三書字樣^ト模^二寫筆畫^ト間涉^レ疑似^ト。仍不^二改換^ト。憚^レ失^二其原^ト故爾^ニ。此之^二二本^ト卷末不^レ記^三年歷等^ト。故言之昔本^ト。方形以印。
- 一 十行四十七紙之本卷尾記云^ニ寬文八^戊三月吉且吉田庄左衛門板行^ト。是為^二今本^ト。字樣筆畫大同^ニ第二本^ニ。更依^ニ異本^ト頗有^二改正^ト而調卷隨^レ旧。於^二第三十八紙^ト補^二寫彼^ト二百八十六字^ト脱落^ヲ增加^二一紙^ト為^二四十七葉^ト。即再治本是也。円形以記。
- 一 更有^二異本^ト。即四十八願釈所^レ引文^{ナリ}。是^レ聖覺所覽^レ古本之最也。可^三以是^三正^三三本^ト。半月印^レ之。
- 一 諸本文字若脱若剩倒置寫誤互有^ニ是非^ト。不^レ可^三一^ニ槩^ト故扱^二其善者^ト從^レ之。願釈所引者古本中之古本^{ナリ}。以^レ不^レ違^レ之為^レ正餘皆為^二異本^ト。其衍文者^ハ構画^{シテ}以示^レ可^レ削。

一願^レ積^ル所^レ不^レ引^ル更^ニ無^ニ他^本刊^驗者^ノ或^冠或^傍。○若^ハ兩^重廊^以分^レ之。俟^ニ後^賢。庶^ハ行^遼無^レ雜^ニ於^醇乳^一燕^石不^レ亂^ニ於^荆玉^一。

』
(半丁空き)

』
弥陀本願義疏

南無阿弥陀仏

沙門源空記之

弥陀本願有^レ總有^レ別。總^三二二。別^分三六八。總^統三万^行。別^積三行^一矣。今^此大^經有^二大^意一有^レ積^名一有^レ三^文段^一焉。

△^第一^大意^者明^ニ珊^提金^輪之^發心^ヲ述^ニ法^藏菩^薩之^誓願^ニ。月^支活^人草^活三^于死^者雪^山靈^芝草^涌三^金玉^精一^六八^之本^誓活^ニ無^明醉^倫一^乘之^名号^涌無^量醜^酬焉。王^義壁^止一^之字^者費^ニ金^錢一^万倍^之酒^直。東^朔雲^氣之^五色^ハ者^施草^樹五^露之^甘味^焉。三^輪二^藏之^教相^者亘^ニ于^諸教^ニ分^レ差^百即^百生^之行^門者^撰三^于万^機成^レ益^ヲ。超^世本^願之^金言^者示^ニ凡^夫往^生之^直路^也。聖^凡同^往三^于淨^利。十^声一^声之^念仏^者指^ニ道^俗運^載之^宝車^也。賢^愚齊^乘三^于華^台。弥^陀之^悲母^者彼^喚積^迦之^慈父^者此^遣。称^名引^ニ万^機信^心彰^ニ一^実。受^ニ得^三法^忍。豈^容レ指^ニ遠^劫

一平。是略シテ積ム其大意ヲ畢。

△第二ニ積ム其名ヲ者、經言レ仏說レ無量壽經卷上。仏者トハ西國正語。此言レ為レ覺。始本一時之覺體也。說者トハ正明ニ口說ス。傍指ニ身說ヲ。無量壽者トハ彼レ仏名号也。即以ニ本願ヲ為ニ經題目ト。又兼ニ光明義ヲ。經者トハ常也。常者トハ指ニ法體常恒ノ之德ヲ也。卷者トハ借ニ漢土ニ三聖弘典卷ヲ也。上者トハ對レ下ノ之詞也。此レ經兩軸也。本云レ上末云レ下故云ニ仏說無量壽經卷上ト。是則略シテ積ム其名義ヲ畢。

△第三ニ入文解釋者始メ自リ我聞如是ニ下ニ至ニ願樂欲聞ニ已ニ來ニ明ニ其序分ヲ。二ニ從ニ仏告阿難ニ乃往過去ニ下ニ至ニ我今ニ為ニ汝略說之耳ニ已ニ來ニ明ニ其正宗分ヲ。三ニ從ニ仏語彌勒ニ下ニ至ニ靡不歡喜ニ已ニ來ニ明ニ其流通分ヲ矣。已上一師所判畢。又一師曰レ始メ自リ我聞如是ニ下ニ至ニ如此諸仏皆悉已過ニ已ニ來ニ正明ニ其序分ヲ。次ニ從ニ爾時次有ニ仏名世自在ニ王ニ下ニ至ニ心當信順ニ如法修行ニ已ニ來ニ正明ニ其正宗分ヲ。三ニ從ニ爾時世尊說ニ此經法ニ下ニ至ニ靡不歡喜ニ已ニ來ニ正明ニ其流通ノ分ヲ焉。此所判好矣。已上大意等ニ三門畢。

又付ニ正宗ノ2分ノ中ニ亦有ニ三分ニ。一ニ從ニ仏告比丘汝今可說ニ下ニ至ニ當具說之ニ已ニ來ニ正明ニ其序分ヲ。二ニ從ニ无三惡趣願ニ終ニ至ニ得ニ三法忍願ニ已ニ來ニ正明ニ其正宗分ヲ。三ニ從ニ我建超世願ニ下ニ至ニ當雨珍妙華ニ已ニ來ニ正明ニ其本願流通分ヲ矣。今正ニ積ム本願ノ序ヲ云ニ仏告比丘ト。仏者トハ正指ニ世自在王ニ王ニ。問云レ彼世自在王ニ王ニ。答曰レ世自在王ニ王ニ。始終ニ心同ニ八相具足ニ化身ヲ。何以得レ知。諸ニ仏ニ刹土ニ有ニ五種別ト。一ニ化土亦名ニ穢刹ト。亦名ニ忍土ト。是具足八相劣化身之所居。二ニ世界種是勝化身之所居。三ニ世界ノ海実報身之所居。四ニ世界性諸ニ法身之所居。五ニ華藏界毘盧遮那如來之所居也。此レ五種ニ化土ニ成ニ化身ヲ。問云レ世自在王ニ王ニ。若言ニ化身ト。法藏比丘隨ニ于化身ニ。發心修行。師範既化身ト。弟子豈報耶。

答曰凡仏有具三足三身之道理。若有其道理者此難不_レ可_レ來。所以者何。其_レ三身中法身無始無終。報身有始無終。化身有始有終。若論報身有始修行必於_レ化仏所_レ發心修行也。然則報化二身師範者必是化仏。例如悲華經說「明_レ无上念王与_レ宝海梵志二人發心者遇_レ宝藏仏教化」。念王者期_レ淨土成仏_レ梵志者願_レ忍土成仏。是雖_レ師範一仏所_レ而發心_レ其發心趣_レ是異。念王既期_レ淨土成仏_レ故報身。宝海梵志願_レ忍土成仏_レ故是化身。問云、若如_レ所_レ引悲華經本号_レ彼安樂国_レ為_レ尊善无垢。教王号_レ尊音。彼仏入涅槃轉_レ世界名_レ弥陀光明。仏号_レ不可思議功德。彼仏涅槃後有_レ一仏出世。名_レ宝光明。轉_レ世界_レ号_レ善堅。如是展轉_レ国名_レ安樂。念王成仏号_レ无量寿。彼仏涅槃後念王子觀音成仏号_レ遍出一切光明功德山王如來。彼仏涅槃後勢至成仏号_レ善住珍宝山王如來。乃至若依_レ彼說者定知_レ弥陀即是化身也。答汝勿_レ致_レ此疑。涅槃言者通_レ報化_レ二身也。報身涅槃者智体常住名_レ之為_レ涅槃。若有_レ弟子依_レ報仏教化_レ究竟大悟号_レ涅槃。弟子若悟究竟師弟更_レ无別无_レ故化道縁則息。且号_レ為_レ涅槃。報仏補處者指_レ印可_レ為_レ補處。全_レ非_レ師滅付_レ属弟子。化仏涅槃者入滅也。无常也。補處者有_レ為_レ无常補處也。況如_レ觀音授記經_レ「举_レ二種見_レ。一者是見_レ一仏入滅_レ之機。是即疑心往生之類_レ不信_レ一仏智等_レ之人生_レ蓮胎。是約_レ外相_レ蓮花。即雜行往生之類_レ所_レ生也。依_レ内相_レ云_レ宮殿。但於_レ二種蓮約_レ内外二見_レ名_レ蓮花云_レ宮殿。四生之中胎生者蓮花之内相也。經言_レ生彼辺地七宝宮殿。今言_レ辺地_レ者何者乎。付_レ之有_レ二種_レ辺地。一者穢土_レ辺地。即遠_レ王城_レ處名_レ二辺地。亦无_レ一仏法_レ處_レ言_レ二辺地。遠_レ王城_レ難也。无_レ一仏法_レ難也。故田舎名_レ二辺地。八難處_レ云_レ二辺地。今例_レ彼等處_レ九品蓮胎之間_レ不見_レ一仏而生_レ一仏入滅之念_レ不_レ聞_レ法_レ而生_レ一仏法滅之念。故約_レ无_レ見_レ聞_レ法_レ縁_レ之方_レ指_レ彼蓮台_レ云_レ二辺地。或人云於_レ極樂世界_レ有_レ九品土。隨_レ業_レ淺深_レ所_レ生。此義不_レ然。言_レ極樂有_レ九品土_レ者何_レ經何_レ論說乎。正

依三經總无二其說。若広論華嚴真言者毘盧遮那所伝也。於三釈迦一代教有已結集未結集。或収天上。或収龍藏。或留貝藏。或入二仙窟。或文殊結集。或迦葉結集。或阿難之結集。何經說極樂世界云レ有九品差別乎。或人疑迦才師云往生見レ土亦有二万別。加之觀念法門云或得三万六万皆是上品上生人。当レ知三万以上是上品上生業云。会云彼迦才師釈者約下雜行往生之人依二疑心處蓮胎之果報上。一往指レ蓮内。為レ土之辺。又觀念法門且約二念數之多少二分上中下。土非云レ有九品。但彼極樂世界十三觀中第二第三觀所レ明土也。彼觀音授記經所レ説深厚善根衆生念仏往生之衆生也。当レ知。見レ入滅者疑惑者也。故日*4發等。釈二疑田辺地久二見レ不入滅。正行往生之者是无二雜疑二過之故。問云浄土門意數返多少云何。答曰上古人智慧深道心厚器量強猶以不過二七十万。矧末世无二智慧淺道心多。六万中二万已上縱於末世雖為二上根人言レ過二十万八七六万。无レ有是處。問云若重數遍一人可レ用二念誦乎。答曰上根上智人无二余念間断不レ及用二念誦。一向愚者尤可レ用二念珠。其念珠形外道平形仏弟子念珠円形也。問云法藏於二何位發二四十八願乎。答曰於二頓教發。超レ位發。此願也。問云比丘本願既經云縁到満足无量大願。然今何限二四十八願乎。答曰於二願有レ広有レ略。无量。広。六八略。問云四十八願者何表レ事乎。答曰表二八万*4四千法門。八万四千者十界十波羅蜜四大因果之開合也。所謂十界一界令持二四十一。十界四百。百界四千。千界四万也。十波羅蜜之中一波羅蜜令持レ八。十波羅蜜八十。百波羅蜜八百。千波羅蜜八千。合二因果二四千也。故成二八万四千也。又以二四大表レ之。一波羅蜜令レ持二四大。十波羅蜜四十大。百度四百大。千度四千大也。凡八万四千法門皆収二此四十

八願也。

其四十八願者 釈云四十八願中有三段。初二願者序文。自悉皆金色願至第四十七得不退轉願正宗分。第四十八得三法忍願流通分也。

又願願皆有二三段。初設我得仏一句四字者一願序文。其中間者正宗分。終不取正覺一句四字者其一願流通分也。其序拳所期得果。正宗明衆生拔苦与樂益。流通立菩薩大誓言焉。

○第一無三惡趣願

經云設我得仏国有地獄餓鬼畜生者不取正覺。

此是期淨土之成仏報仏之菩提也。何以得レ知。化仏者唱穢土之成道。然穢土而不レ有三惡趣土上。既无三惡道者即可是淨土。故悲華經說乃往過去名尊善无垢時之相上云尊音如来。今現在為諸菩薩說於正法。彼界无有レ声聞辟支仏名。又无有下說小乘法者。純一大乘清淨无雜。其中衆生等純一化生。亦无有レ女人及其名字。又彼經說今安樂土相云彼世界之中无有レ声聞辟支仏乘。所有大衆純諸菩薩无量无边。当レ知。彼土即報土矣。

頌曰

極樂界中无三惡 亦无二乘女人名

純諸菩薩大乘衆 当レ知彼国実報土

○第二不更惡趣願

經云設我得仏国人天寿終之後復更三惡道者不取正覺。

釈云彼所_レ觀見_二諸_レ仏刹土之中有_二淨土_一有_二穢土_一。其_レ穢土衆生更_二惡道_一。淨土衆生不_レ更_二惡道_一。捨_下其更_二惡道_一之濁穢土_上。取_下不_レ更_二惡道_一之清淨刹_上。為_二其_レ本願_一發_二此願_一。故_レ知_二極樂_一者是報土。彌陀亦是報土也。

頌曰

極樂世界人天衆 不_レ更_二惡趣_一住_二不退_一

旧住新住大乘衆 見_レ仏聞法常快樂』

○第三悉皆金色願

經云設我得_レ仏国中人天不_レ悉_レ真金色者不_レ取_二正覺_一。

釈云譬如_下*6明鏡雖_二塵積曇_一其性无_レ曇_リ。故_レ中_二其塵_一拂_二其垢_一之時明相現_上。中_二煩惱罪濁之塵_一去_二无明痴愛之垢_一法性真如之真金色形大悲実相之光現也。

頌曰

極樂人天大海衆 因_二順余方_一人_レ天_レ名_上

其_レ相黃金微妙色 悟_レ性体相身膚現

○第四无有好醜願

經云設我得_レ仏国中人天形色不同有好醜者不_レ取_二正覺_一。

釈云法藏比丘所_レ觀見_二諸_レ仏之刹土之中有_レ淨有_レ穢。淨者報_レ報土也。即_レ純_レ諸_レ菩薩境界_一更_レ无_二形色不同_一相_一矣。穢者化_レ化土也。即_レ具有_二六道四生_一。故_レ而_レ*7有_二形色好醜之不同_一。捨_二彼好醜不同之穢土_一取_下无_レ

有^ル好醜^{コト}之報土^ツ上發^ル此願^ヲ焉。

頌曰

捨^ニ彼好醜雜穢土^ニ无^レ有^ル好醜^{コト}真報土

極樂人天諸大衆 形色^ナ一類^ハ純菩薩^{ナレハナリ}

○第五通識宿命願』

經云設我得^レ仏国中人天不識宿命下至不知百千億那由他諸劫事者不取正覺。

釈云彼二百一十億諸仏刹土之中有^レ淨有^レ穢。化仏化土之衆生猶不^レ知^ニ一^ノ生^ノ之事^ヲ。何況^シ二^ノ生^ノ三^ノ生前^ノ事^ヲ乎。

生^ニ報土^ニ見^ニ報仏^ヲ衆生者不^レ闍^ニ于^ニ三^ノ明^ノ十^ノ明^ニ。於^ニ六^ノ通^ノ十^ノ通^ニ懸^レ鏡照臨。然^レ見^ハ二^ノ彼淨土^ヲ發^ニ此願^ヲ焉。

頌曰

忍土衆生不^レ識^レ宿^ヲ何況^シ具足^{シテ}通^ニ三^ノ世^ニ

淨土菩薩識^ニ三^ノ世^ヲ 万億宿業悉通達

○第六必得天眼願』

經云設我得^レ仏国中人天不得天眼下至不見百千億那由他諸仏国者不取正覺。

釈云然彼穢土之衆生者肉眼猶不^レ明^ナ。況^シ天眼乎。然^ニ天眼有^ニ二^ノ種^ニ。一^ノ世^ノ天眼。即有漏^ノ之天眼。是^ニ三界中

之果報。二^ノ无漏^ノ天眼。即出世^ノ之菩薩之所^ニ感得^レ之性相圓滿^ノ之果報也。

頌曰

等覺菩薩名^ニ人天^ニ 非^ニ是^レ三^ノ界人天^ノ類^ニ

所得天眼非_二有漏_一 即是真如_{ニシテ} 聖天眼_{ナリ}

○第七自得天耳願』

經云設我得仏国中人天不得天耳下至聞百千億那由他諸仏所說不悉受持者不取正覺。

釈云凡天耳有_二三種_一。一忍土人天所得天耳者有漏之天耳。更不_レ聞_二出世之事_一。淨土之菩薩之所得天耳者淨衣並聞十方同時共聽。即是无漏之天耳也。

頌曰

安樂報土諸聖衆 皆得_二无漏天耳通_一

大小十方諸菩薩 同時同聽皆受持

○第八得見他心願』

經云設我得仏国中人天不得見他心智下至不知百千億那由他諸仏国中衆生心念者不取正覺。

釈云三界有漏之他心智者知_二下智念慮_一不_レ知_二上智心念_一。然安樂報土之聖衆者上知_二見諸仏之心念_一下覺_二悟三惡之苦心_一。於_二大小凡聖之心念_一莫_レ不_二覺悟_一焉。

頌曰

性海人天諸聖衆 見_二覺凡聖他心_一智_{アリ}

非_二是有漏五神通_一 即是无漏大悲智_{ナレハナリ}

○第九神足随念願』

經云設我得仏国中人天不得神足於一念頃下至不能超過百千億那由他諸仏国者不取正覺。

釈云三界*8有漏之神通者起_レ之時得_二自在_一不起之時失_レ通。如_下彼目連尊者起_二神通_一之時一念之頃匝_二四天下_一百千匝不起_レ通之時為_二外道竹杖被害_上。彼安樂國聖衆之神通不_レ然。是不退之神足也。則豎_二遍大之上下_一橫亘_二大之四域_一焉。

頌曰

世界海中諸聖衆 自然身備_二神足通_一

非是有漏退神通 常住不退_二性神通_一】

○第十无貪着身願

經云經云設我得_レ仏国中人天若起想念貪計身者不取正覺。

釈云比丘所_二親見_一諸仏土之中化身所居之穢土之衆生者貪_二着現生有漏之身_一。為_二菩提_一慳_二身命_一為_二世事_一抛_二珍財_一為_二名利_一不_レ慳_二身財_一焉。然安*9樂報土之人天海衆不_レ貪_二着身命_一。凡_二天計者_一其_二着也_一。皆無念寂_二静_一常安樂之智_二不開發_一故也*10。

頌曰

西方極樂聖人天 不_レ着_二身命_一住_二無念_一】

自行化他兩満足 隨_レ願得_レ度_二十方界_一

○第十一住正定聚亦必至滅度願

經云設我得_レ仏国中人天不住定聚必至滅度者不取正覺。

釈云今就_二此願_一有_二三種_一義。一者定聚者除_二邪定不定_一二種_一正定聚。其定者即不退也。故生_二彼国_一者住_二等

覺已上之念不_レ退不_レ至_二有為之滅度_一願也。二者滅度者非_二是有為無常之滅度_一。滅度者但是恒然常住之義也。滅者自行之自寂也。度者化他之滿足也。然一師云指_レ佛稱_二兩足尊_一者自行化他之兩_レ滿足故云。是不_レ可_レ順_二化佛土之人滅度_一焉。

頌曰

旧住新往諸菩薩 不_レ住_二定聚_一真滅度

自行円満化他足 正覺満月光独燈^{•11}

○第十二光明普照願

經云設我得佛光明有能限量下至不照百千億那由他諸佛國者不取正覺。

釈云已前十一願皆明_二所化菩薩證_一。今此願者舉_二能化如來報之功德_一也。凡言_レ報者西天云_二毘盧舍那_一。此翻云_二光明_一。小經云彼佛光明無量照_二十方國_一。無_レ所_二障礙_一。是故号為_二阿彌陀_一。即知。阿彌陀者梵語也。光明者漢語也。其所_レ照十方可_レ知大之十方矣。^{•12}

頌曰

光明普照十方界 即是報身佛相光

化佛更無_二普照義_一 何況不斷照_二十方_一

○第十三佛壽無量願

經云經云設我得佛壽命有能限量下至百千億那由他劫者不取正覺。

釈云此願同_二明_一阿彌陀報佛之功德也。小經云彼佛壽命及_二其人民_一無量无边阿僧祇劫故名_二阿彌陀_一。』当_レ知。

梵語多含也。今兼二種義。阿弥陀者梵語也。此翻光明。翻无量寿也。是故十二三兩願者弥陀報仏之明證。況大經十二光觀經光明遍照小經光明無量文。以銘肝落淚數行也。

頌曰

彼仏寿命无二際限。人天聖衆亦復然。

是故往二生彼国。者不聞二生老病死名。

○第十四声聞无数願

經云設我得仏國中声聞有能計量下至三千大千世界声聞緣覺於百千劫悉共計校知其數者不取正覺。

釈云彼二百一十億刹土有二淨土有二穢土。今此願分彼淨穢二土之二乘也。今彼國中声聞者指大乘極位菩薩也。凡諸仏説法有二種。一者口説。是名教内。二者身説。是名教外。聞彼口説音声之教證果之人名声聞。十信声聞。十住声聞。十行声聞。十回向声聞。十聖乃至声聞仏果。故知。國中声聞者指報身所化大菩薩焉。人天人民。因二順余方。故立其名。更不類穢土之人民。豈声聞獨覺同化仏所化声聞乎。何況三千大千世界之声聞之外乎。國中声聞。若不指大乘之薩埵。是何色人乎。次三千大千世界声聞緣覺者正是化仏所化之小乘之二乘也。小經所説声聞無數弟子以之例。可知智者心知焉。

頌曰

聞レ声得レ道名二声聞。非二是小乘愚二乘。

三千界中二乘。不レ知三界外有二淨土。

○第十五聖衆寿命无量願

經所化也

經云設我得仏国中人天壽命無_レ能_レ限量_一除_レ其本願_一修短自在_一。若不爾者不取正覺。

釈云第十三願明_ニ仏壽之長遠_一。今此願明_ニ所化壽命長遠_一。同_ニ小經彼仏壽命及其人民无量无边阿僧祇_一。

頌曰

彼_レ仏壽命无数劫 聖衆人天壽命同_一

念_ニ彼本願_ヲ往生者 證_ニ得无生_ヲ住_ニ正覺_一

○第十六遠離不善願

經云設我得仏国中人天乃至聞有不善名者不取正覺。

釈云彼所_ニ觀見_ヲ諸仏刹土之中有_ニ化土_一有_ニ報土_一。其_レ化土具有_ニ六道_一故有_ニ諸不善名_一。撰_下捨_レ其有_ニ一切不善_一諸_レ仏穢土_ヲ撰_ニ取無諸不善報_一淨土_ヲ發_ニ此願_一也。

頌曰

化仏出世諸濁刹 盈_ニ滴_ヲ一切不善事_一

本願所成真報土 遠_ニ離六道不善名_一

○第十七諸仏称揚願

經云設我得仏十方世界无量諸仏不悉咨嗟称我名者不取正覺。

釈云就_ニ此願_一有_ニ二意_一。一就_レ仏_一解。二就_レ衆_一解。一就_レ仏_一解者若我成仏為_ニ十方諸仏_一被_レ称讚_一仏果功德。仏果者覺也。一切菩薩為_レ得_ニ其覺_一發心修行十方諸仏皆同心莫_レ不讚_一嘆_一其性其相。故極_ニ覺_一言_レ被_ニ讚嘆_一矣。二就_レ衆解者於_下称_ニ弥陀本願之名号_一行者上十方諸仏同心言_レ可_レ讚_一嘆_一之。悲華經云願我成_ニ阿耨菩提_一

已。令十方諸佛稱揚讚嘆我名。此合前義。即此經願成就文同之。小經六方証誠亦以同之。第二義凡諸佛本心皆令衆生出離矣。然十十万易出離者念佛也。故歸彌陀本願念佛。是稱諸佛意。故諸佛同心讚嘆念佛行者矣。』

頌曰

諸佛本身一法身 是故同讚本覺心

亦讚稱名讚佛者 稱名易故皆出離

○第十八念佛往生願

經云設我得佛十方衆生至心信樂欲生我國乃至十念若不生者不取正覺。唯除五逆誹謗正法。

問云見此願始終無稱名之證。何云念佛往生願乎。答云乃至十念豈非念佛乎。問云夫念三

寶云三念。念六法云六念。念十戒云十念。或亦經云如一念頃。此一念者時節一念也。此念

若延可。云三念之頃五念十念之頃。何以知稱名十念哉。答云觀念法門往生禮讚等云稱名十念。

其文分明。私不及明。問云彼彌不審。何云稱名十念乎。答云此願願成就文云諸有衆生聞

其名。故知。是名十念也。問云稱名十念義尤可。然。但若稱名念佛易修行。易往生。何除三五

逆誹謗正法乎。按此道理。此教若權教者尤可。除。權教不能轉定業。故也。若言實教者何不轉之哉。

答曰光明寺一家之意教相分明。所謂立三藏二教。一代聖教。故二藏中收菩薩藏。又就菩薩藏

有漸有頓。漸頓二教中言頓教。知是實教也。問云可。實有漸權有頓乎。答云頓一向限。實。漸

一向限權也。問云實頓可有斷惑義耶。答云此問不可。實教頓教若云有斷惑之義者無有是處。

。絶無二分道理也。問云二藏中菩薩藏二教中頓實者立三法輪可定諸教說時一哉。

答云四部八卷中雖不見依菩提三藏按道理必可立三法輪定諸教說時也。問云若立三法輪

者今此三經撰何法輪耶。答曰既云實之頓也。當歸本法輪撰。何以故。阿難有三種。一阿難

陀。此云慶喜。持聲聞藏。二阿難拔陀。此云喜賢。持獨覺藏。三阿難伽羅。此云喜海。持菩薩

薩藏。但是於一人隨德立三名。其中前二阿難共撰聲聞藏。第三喜海是此教能聽人。然如來說法之

時者四十九歲也。如彼十二遊經說。如來成道一年不說法。自如來三十一歲始說法。終二十五年奉

事。故般若已前經無能聽之義。既大經觀經共告阿難說之。若如以此者阿難奉事雖自般若中間有之

此經說時已定。情尋如來遊化之時節。轉定業權教之力所不堪。既轉五逆誹謗正法等重罪令得无

生忍。深益。況阿闍世發菩提心列法華座。隨涅槃之砌。闍王逆罪其相最委細。故法華同時說也。次論

三經前後。大經序觀經正小經流通也。以何得知。大經說法藏發心因位之相。知是序文。觀經說願

成就果後相。知是正宗。小經說下本願所成之身土及捨雜行取中正行。定其行已後有諸佛之証誠。故知

是流通也。問云既言下轉定業是實教者何言唯除五逆誹謗正法耶。若言除重罪汝何云轉定業故是實教

耶。答云此當教肝心也。今此六八願之中一願設我得仏之句一願序分也。其中間正宗也。不取正

覺之一句流通也。然自余四十七箇之願皆不取正覺之後更無有一字。何十八願獨流通之後有別之語乎。

此有三義。一非法藏比丘誓願。積迦為抑止且置之語也。二法藏且為抑止置之也。當知。不置

不取正覺之中。故知。實撰也。故觀經撰己造業之五逆猶抑止未造業之謗法也。經文分明也。上¹⁴天

竺漢家日域現証滿目滿耳耶。問云第十八願既為本願中王。何此不說來迎耶。答十八願一向說

二行門。至二十九願別說來迎之功德。其相如後說焉。」

頌曰

弥陀本願唯一行 為下撰三万機令往生上

万行各各雖微妙 凡夫難解難行故

○第十九聖衆來迎願

經云設我得仏十方衆生發菩提心修諸功德至心發願欲生我國臨壽終時假令不与大衆圍遶現其人前者不取正覺。

釈云上願說往生之正業。此願說聖衆來迎之相貌。問云此願既說發菩提心修諸功德願成就三輩文學

諸行。知。十八願不說來迎說念仏一行故。念仏者万行中其一行也。修諸功德之願下說來迎念

仏之來迎在三万行中故也。何言念仏之來迎耶。答云或人云發菩提心者非余菩提心。但往生門隔時之

菩提心也。修諸功德者非余善。但弥陀名号。撰弥陀内証外用功德故也。欲往生者發菩提心也。修彼

名号者修諸功德也。私云*此願說諸行者十八願從初發心至臨終一舉修念仏人相。此十九願根性

多途。始或有下期娑婆之得道人上。或有下前修諸行捨後歸念仏人上。說捨其本所修之業歸念仏往

生之人相上也。以何得之知。以願成就文分三輩。為令此道理易得之意也。上輩說捨家棄欲而

作沙門行。又說一向專念之行。然中輩言雖不能行作沙門是即捨上輩出家之功德勸進諸行一門。雖

然猶勸一向專念行。又中輩所說諸行皆總以至下輩。假使不能作諸功德者指中輩所說齋戒塔像等諸善

也。例如下如來始說阿含等小乘後捨彼小乘說權乘。復闍權乘說空乘而亦後休空乘說法華

又如法華先說三車後說白牛撰中万機上。此亦爾。先說上輩行作沙門大行。而後捨上輩之業勸中輩諸

品之中說二三心者勸諸行之人為令入念仏也。凡具三心者捨諸行一移念仏也。當知。疏文具三心者歸念仏也。歸念仏者行必成也。此散善之前之定善歸入三心具足念仏可遂往生二者也。

問云就所說三心第一至誠心者真實心也。其真實者不改不動不廢之義也。身子之證第六住猶退菩薩行。自非斷惑之菩薩雖具真實五濁五苦之凡夫何具真實。具真實一七言往生二者凡夫之往生有名無實。答云誠如疑難。真實若凡夫真實者何凡夫可遂往生哉。且以道理會之往生淨土法門者本是不

似余經之道理。但憑本願所施利他真實也。法藏菩薩之五劫思惟悉真實也。永劫修行皆至誠也。

回彼思惟之本懷所修万行之真實至誠施我等。彼思惟之本懷真實至誠也。歸真實之願一心故云真實心。然真實者本願之真實也。所歸心者行者之心也。其真實若行者真實者無有是處。本願中至心者至者真

也。然其至者本願之至也。本願之真也。下輩之至誠與觀經之至誠以如是。小經一心一者專之義也。不改之義也。然能化之至誠能化之一心。心至心之心與一心之心是所化之心也。能所合云至心云至誠心云

一心耳。第二深心者經云如來智慧海深広无涯底。釈云弥陀智願海深広无涯底。當知。信下深広智一出之本願故深者能化之深也。心者所化之心也。本願之中信樂信深広之本願。下輩之中若聞深法

不生疑惑聞本願深広無疑惑之心信樂。觀經深心如是。小經不乱信樂深広之仏智心不乱也。然深者能化之深也。心者所化之信心也。故能所合云深心也。第三回向發願心者廻回向之義通能所。先

欲生我國者欲生者所化之心也。我國者仏五劫之思惟永劫修行回施念仏行者也。故龍樹釈云所護善根清淨者回施衆生彼國。蓋此意也。然憑能化之回向之本願回向所化之心也。故能所合云回向發願心

也。翻內之三心施外儀為三名号。翻外之称名播內云三心。但安心之三心起行之称名一而非一。

内外異故二而』非二。心行一体故。又已前雜行有二種。行体之雜行与二雜修之雜行也。若此雜行言具三二心者无レ有是處。又三心有二義。行具之三心智具之三心是也。然就三經有二十四種之來迎。第九願三輩九品小經是也。此皆就念仏行者也。經云諸法皆有六相円融之義。是故弥陀仏是惣相。五根差別為別相。共三万行縁起是同相。六根各不三相知。是異相。諸相一不レ缺一身上會。是成相。諸根各住二自位。是壞相。此六相名二六事。惣別一对同異一对成壞一对合為一。一*19之時六者三也。此六相各具二六相故』名号有二六事三对三十六義功德。喩之屋舎。舎是惣相棟梁椽柱等為別相。諸材木共但一縁起是同相。棟梁等各限二其分。互不三相知。是異相。材木一缺家不レ成。諸材木共會。是成相。諸具皆柱棟住二自位。是壞相也。此德必然而具故名喩屋舎。具三十六義也。問云弥陀名号若具二如是德無上功德者一念發信心唱二念已後可有二心退哉否。

答云豈先不レ言耶。外凡十信喩輕毛易レ改。六住菩薩退二其行。況五濁之凡夫住二不退位哉。是必往生已後可レ住二不退之位。但相統不退可レ勵者也。』

頌曰

我說二彼尊功德事。衆善无边如二海水。
所レ獲善根清淨者。回二施衆生二生二彼国。

○第二十植善遂生願

經云設我得仏十方衆生聞我名号係念我國植諸德本至心回向欲生我國不果遂者不取正覺。

釈云此指二一生三生往生。所以者何。既第十八願說二往生之正行。十九願明二聖衆來迎二重不レ及下說二正行。

明_中來迎_上。但是今生、²⁰念_ハ仏者若_ハ信心淺_ク若_ハ值_ニ惡緣_ニ。雖_レ不_レ遂_ニ順次_ノ之往生_ヲ、其本念_ハ仏不_レ虛。順次還_ニ人界_ニ。
『云_ニ必可_レ遂_ニ往生_ノ之望_ニ。設雖_レ不_レ遂_ニ一_ニ生_ノ之往生_ヲ猶_レ不_レ可_ニ等閑_ノ念_ハ仏_ニ。臨終值_ニ惡緣_ニ猶_レ以_レ不_レ隨_ニ惡道_ニ。何況_ニ正念_ノ往生_人哉。』問云既云_ニ植諸德本_ニ。全不_レ云_ニ一_ニ向專念_ニ。何於_ニ念_ハ仏_ノ之行_ニ云_レ指_ニ一_ニ生_ノ三_ニ生_ノ往生_ノ乎。答云今言_ニ植諸德本_ニ者全_ニ非_レ指_ニ諸余_ノ雜行_ニ。念_ハ仏有_ニ三十六義_ノ之諸德_ニ故指_ニ念_ハ仏_ニ云_レ植諸德本_ニ也。

頌曰

若人念_ハ仏雜_ニ疑心_ニ 信心微小_ノ念_ハ仏者

不_レ遂_ニ一_ニ生_ノ往生_ノ者 一_ニ生_ノ定得_レ生_ニ極樂_ニ

○第二十一具三十二相願』

經云設我得_レ仏國中_ニ人天不_レ悉成滿_ニ三十二大人相者不_レ取_ニ正覺_ニ。

釈云 問云彼_レ仏及_レ土既言_レ報者_レ報身。或云_レ具_ニ九十七_ノ之大相_ノ无量_ノ小相_ニ。或云_ニ自受用身_ノ諸相_ノ好_ニ一_ニ遍滿_ニ十方_ノ界四智_ノ円明_ノ受法_ノ樂前_ノ仏後_ノ仏体_ノ皆同_ニ。或云_ニ他受用身_ノ諸相_ノ好_ニ隨機_ノ応現_ニ無增減_ノ為_レ化_ノ十地_ノ諸菩薩_ノ一_ニ仏現_ニ於_ニ十種_ノ身_ニ。何_レ報_ハ仏報_ハ土_ノ之聖衆_ノ具_ニ三十二相_ノ乎。答云是非_ニ定報_ハ仏報_ハ土_ノ之相_ニ。因_ニ順余方_ノ故云_レ具_ニ三十二相_ノ。是彼_レ仏土_ノ聖衆_ノ實_ニ非_レ具_ニ三十二相_ノ。三十二相者似_ニ同_ノ轉輪_ノ聖王_ノ。』轉輪_ノ聖王者_ハ人中_ノ王_{ナリ}。安養_ノ界_ノ諸聖衆_ノ豈_ニ以_レ人_ノ中_ノ之果報_ヲ為_レ望_ニ乎。

頌曰

安養_ノ界_ノ之諸聖衆 因_ニ順余方_ノ三十二

実言_ニ彼國_ノ真_ノ相_ノ好_ニ 無量_ノ相_ノ好_ノ皆具_ニ足_ニ

○第二十二必至補處願

經云設我得他方仏土諸菩薩衆來生我國究竟必至一生補處除其本願自在所化為衆生故被弘誓鑿積累德本度脫一切遊諸仏國修菩薩行供養十方諸仏如來開化恒沙无量衆生使立無上正眞』之道超出常倫諸地之行現前修習普賢之德若不爾者不取正覺。

釈云此經*21 華二万二千大比丘衆了。云又与大乘衆菩薩俱。華普賢妙德慈氏菩薩等三菩薩云斯賢劫中一切菩薩云又賢護等十六等。次下云皆遵普賢大士之德。而今願修習普賢之德。一同無異。若他方仏土之菩薩來生極樂世界預彌陀如來授記修習普賢之德。普賢德者正覺也。以何得知。如此經初說言於无量世界現成等覺。云現成等覺者非等妙一覺中之等覺也。則等正覺之等覺也。既云於无量世界現成等覺說上天下天等之八相之化儀。來生極樂世界者皆悉可備此德也。言他方仏土者有淨土有穢土。他方淨土之菩薩者為助如來之行化來蒙授記。他方化仏穢土之菩薩者詣淨土而同一得深心之菩薩蒙授記。又於補處有二種。一者化仏之補處。例如釈尊補處之弥勒也。二者報仏之補處。即以印可為補處。即今願補處者即印可之補處也。

頌曰

一切化仏唱入滅 一生補處涅槃後

化仏補處即弥勒 弥陀補處即印可

○第二十三供養諸仏願

經云設我得仏國中菩薩承仏神力供養諸仏一食之頃不能遍至無數无量那由他諸仏國者不取正覺。

釈云極樂旧住新住諸聖衆不レ云其遠近。遍至大之十方諸仏国延三種供養。二種供養者一内事之供養。以法味供養也。二者外事之供養。即四事及百味供養也。

頌曰』

内事供養最為尊 外事供養亦殊勝

二種供養亦隨意 二種但是菩薩因

○第二十四供物如意願

經云設我得仏國中菩薩在諸仏前現其德本諸所欲求供養之具若不如意者不取正覺。

釈云法藏比丘所親見諸仏刹土之中有化仏穢土。其化仏所化之土六趣雜居。其中地獄餓鬼畜生修羅等四惡趣。人天之二類者善趣。生其善趣者之中有供仏施僧之志者雖有志無供物者將徒其志。設雖有供物亦少是有レ一。一者亦少。就無』身心不安也。彼報仏之淨刹者万物自然涌出一事而无レ不足。若不如意者无レ有是處一矣。

頌曰

極樂無為諸薩埵 每時供養億諸仏

四事百味諸供物 如意隨願常涌出

○第二十五說一切智願

經云設我得仏國中菩薩不能演說一切智者不取正覺。

釈云彼国既報土故聖衆皆是得忍大悟之薩埵也。口音転唱一切智。六根演說無碍法。時而无レ不』說法

。四威儀皆是說法也。

頌曰

安樂人天諸聖衆 每時演說一切智

口音相好四儀等 常說諸法実相義

○第二十六得金剛身願

經云設我得仏国中菩薩不得金剛那羅延身者不取正覺。

釈云那羅延*22者西国之首也。此翻極大力士。今所レ言者非指有漏那羅延力*23。則名無漏金剛心。菩薩之極位為金剛。那羅延身是也。生彼国者必往正受金剛心之位。令彼得生之人至一生補處之覺位。故名金剛那羅延身。若不然者豈生無為涅槃之界。人得受有漏那羅延身乎。

頌曰

若人得生極樂界 無漏金剛那羅延

如彼等覺金剛位 是名金剛那羅延

○第二十七万物光麗願

經云設我得仏国中人天一切万物嚴淨光麗形色殊特窮微極妙無能称量乃至逮得天眼有能明了弁其名数者不取正覺。』

釈云凡三界有為果報者財物隨時貧福因業好醜不_レ等。求緣亦不_レ足。然彼国永劫修因万善所成故万物極微其数難_レ称。為_レ令_レ得_レ此_レ益_レ發_レ此_レ願也。

頌曰

念仏往生一切衆 所得万物形色妙

縦有レ速ニ得ニ 天眼ニ者 不レ能ニ明ニ了ニ其數ニ

○第二十八知見宝樹願

經云設我得仏國中菩薩乃至少功德者不能知見其道場樹無量光色高四百里者不取正覺。

釈云道場²⁴樹者道者菩提也。場者得ニ菩提ニ處ニ之名也。問云弥陀既成ニ正覺ニ。正十劫。誰人得道之場定乎。答云弥陀成ニ正覺ニ已來經三十劫者其義勿論也。但約下依ニ彼ニ彼ニ教化ニ往ニ生彼國ニ者上說ニ道場ニ也。問

云知ニ見彼宝樹ニ之機小功德者約ニ何物ニ名耶。答云小功德者即雜善也。

問云以レ何得レ知ニ小功德即雜善ニ。況雜業往生者明知ニ見ニ道場樹ニ乎。答云既云ニ國中菩薩了。言ニ乃

至少功德者。國中菩薩者旧住新住共本願念仏往生臨終得忍之人。少功德者自レ非ニ雜業ニ以レ何說レ少。小經少善根可ニ思合ニ者也。但雜行往生者雖有ニ華合之障。障尽預ニ華開益之時ニ必可ニ知見ニ也。

問云其宝樹既云三十二万里者何正法高依報低有ニ何所以耶。答云三十二万里者彼國之里也。更非ニ娑婆之里也。

頌曰

宝樹高頭三十二 非レ指ニ娑婆穢國里ニ

即指ニ彼國称量里ニ 見者乃得ニ無生忍ニ

○第二十九必得弁才願

經云設我得仏國中菩薩若受説經法諷誦持説而不得弁才智慧者不取正覺。

釈云經法有三種。一者色之經法。即多羅葉梵本及翻譯書寫之卷軸。此先令得眼根之益。次通口意之業。二者言語之經法。只唱一口業。後通意業。三者実相之經法。是覺知之分之經法。但彼國有後之二種説法一耳。諷誦持説而得無礙弁才焉。

頌曰

二種經法常在レ彼 聖衆諷誦持説悟

不レ惜世天弁才智 自弁自才常誦説

○第三十弁才無窮願

經云設我得仏國中菩薩智慧弁才若可限量者不取正覺。

釈云拳先得弁才明不レ借世天之力。今亦明彼弁才無限量也。

頌曰

已得弁才無限量 三賢十聖難測量

衆生得レ生極樂界 必得弁才無限量

○第三十一得見十方願

經云設我得仏国土清淨皆悉照見十方一切無量無數不可思議諸仏世界猶如明鏡觀其面像若不爾者不取正覺。』

釈云彼國既報土故。譬如因陀羅網互出無尽。乍居觀十方淨土如明鏡見其面像矣。

頌曰

彼国現是実報土

互見二十方一如天珠

示如明鏡觀二面像

自界他方更無碍

○第三十二雜物薰香願

經云設我得仏自地以上至于虚空宮殿樓觀池流華樹園中所有一切万物皆以無量雜宝百千種香而共合成。嚴飾奇妙超諸人天其香普薰十方世界菩薩聞者皆修仏行。若不如是者不取正覺。』

釈云聚窟州²⁵在西方界中。彼有大樹。与机木相似。窟林芳其香聞數百里。名反魂樹也。至老者聞此香忽還若疾病者更成強壯之身。此是有漏之反魂樹香之德。況於彼無漏實相之界。一切万物其香聞之者皆修諸仏己証之行。即昇諸法実相之臺也。

頌曰

反魂樹香 聞有利益 衆病悉除老成少

何況安樂依報香 聞者自然修仏行

○第三十三光触滅罪願

經云設我得仏十方无量不可思議諸仏世界衆生之類蒙我光明触其身者身心柔軟超過人天若不爾不取正覺。

釈云天有甘露。服者長生地有酒泉。飲者除愁。山雪触春日一流深水。槿花向日朝日色忽萎。然弥陀永劫之修行之万善遂莊²⁶照。一念称名之行者身心柔軟超人中天上之思量。実体図明入諸仏悟

入真門焉。

頌曰

十方無量諸衆生 蒙二仏光明一触二其身一

身心柔軟 過二人天一 即除二滅无量惡業一

○第三十四聞名得忍願

經云設我得仏十方無量不可思議諸仏世界衆生之類聞我名字不得菩薩無生法忍諸深總持者不取正覺。

釈云此有二二義一。一者聞二名字一即得レ忍。 問云聞二弥陀ノ名字一直得レ忍者十方世界何類不レ得レ忍乎。

答云聞者則聞持也。聞持者起信也。故聞而持持而信者必可レ得レ益。例如下因二似我之呪一青虫成レ蜂。偃蓋

有二玉泉飲レ之者長生上。況報仏難思之名号聞而』不レ得レ益乎。二者聞而信信而行者臨終乘レ台之時即證二

悟無生法忍一也。 問云何物乘レ台得レ忍。 答曰有二三義一。一衆生有二魂魄一。魂乘レ台。二每二衆生一皆ナ

有三性一。其中依他乘レ台。三自性即依レ念受生解。第三義正義也。 問云今言二無生一者何教何地無生耶。

答曰就レ之有二意一。一者借二漸教後分之次位一初住無生。生二報土二忍也。二者无二別位一。但大悟無生

也。凡斷無明證中道之菩薩在二報土二者漸教之意也。若言レ有二斷惑之義一者無レ有レ是處一矣。

頌曰

若聞二弥陀仏名号一 自然得レ悟二無生忍一

若得下即悟無生智上 即同レ仏位無二差別

○第三十五女人往生願

經云設我得仏十方無量不可思議諸仏世界其有女人聞我名字歡喜信樂發菩提心厭惡女身壽終之後復為女像者不

取正覺。

釈云 問云今見此願意變成男子之願 更不說女人往生。何云女人往生之願乎。答曰凡言男女二者限一生之形相。敢非不变之相。謂其魂引者小乘及漸教初分之義也。依他性受後生者後分之意也。自性引後果者頓教之義也。三義共魂無男女之相。依他無男女之相。自性無男女之形。男女同捨此身生彼國。厭惡女身。壽終之後復不成女像。豈非女人往生乎。觀經韋提等往生豈非此願願成就耶。

頌曰

若有女人能念仏 往生極樂定無碍

臨終一念生彼時 只令必成黃金體

○第三十六聞名常修願

經云設我得仏十方無量不可思議諸仏世界諸菩薩衆聞我名字壽終之後常修梵行至成仏道若不爾者不取正覺。

釈云十方世界有淨有穢。此指穢土菩薩。故云壽終。此等聞彌陀本願之名。順於願意。念得生彼國之後可修梵行。梵行者淨行也。如云既生彼國更無所畏長時起行等也。

頌曰

他方世界菩薩衆 捨彼本身生極樂

常修梵行至成仏 還來本土化辟類

○第三十七人天恭敬願

經云設我得仏十方無量不可思議諸仏世界諸天人民聞我名字五体投地稽首作礼歡喜信樂修菩薩行諸天人莫不

致敬若不爾者不取正覺。

釈云若一仏所居之國限三千大千世界者化仏化土声聞藏之説相也。今言十方者即大十方也。大十方者報
仏所作²⁸之處也。釈云如來尊号甚分明十方世界普流行者蓋此之心也。弥陀名号普流行十方世界之時其
人天聞之。我等入天曠劫希得聞^レ弥陀名号。乘^レ此此仏本願一生西方淨土入^レ法性真如之大海是也。五体
投地悲喜交流修^レ念^レ仏行。修菩薩行者念^レ仏也。

頌曰

弥陀名号極深善

十方六道皆得^レ聞

得^レ聞^{コトヲ} 雜類身投^レ地 踊躍歡喜 歸命礼^{上ル}

○第三十八衣服隨念願

經云設我得^レ仏國中入天欲得衣服隨念即至如^レ仏所讚^レ法妙服自然在身若有裁縫擣染浣濯者不取正覺。

釈云衣服有^二六種^一。一者法衣。即柔和忍辱之心是也。仏菩薩境界此衣為^レ最。二者俗諦之衣。三者非^レ情
自然衣。即一切草木等自然生得^レ之皮以為^レ衣服。四者畜生自然衣。以^レ自然生得^レ之毛為^レ衣服。五者天上
自然衣。六者人中有作衣。然彼極樂世界有^二三種衣^一。忍辱法衣与^二自然事衣^一是也。 頌曰

彼^レ國人天妙衣服 無^レ有^二裁縫擣染濯^一

但有^二往昔修行因^一 今成^二自然微妙衣^一

○第三十九自然漏尽願

經云設我得^レ仏國中入天所受快樂不如漏尽比丘者不取正覺。

釈云於レ漏有ニ一種。一者有漏。即三界中之漏。尽此漏一名漏尽比丘也。二者無漏。即約界外尽界內漏尽之癡惑*29是也。此是分喻也。

頌曰

今言漏尽快樂者 非指三界內漏尽
界外漏尽則正覺 除非正覺無漏人

○第四十普見十方願

經云設我得仏國中菩薩隨意欲見十方无量嚴淨仏土応時如願於宝樹中皆悉照見猶如明鏡觀其面像若不爾者不取正覺。

釈云若穢土衆生者雖竹紙不見其外。是業障報障煩惱障深隔故肉眼之所見皆以如是。彼国聖衆悉是自然得无漏天眼。故隔於宝樹莫不見十方矣。

頌曰

肉眼不レ見昼夜色 雖昼不レ見一紙外
彼国人天得天眼 大小巨細皆得レ見

○第四十一具足諸根願

經云設我得仏他方国土諸菩薩衆聞我名字至于得仏諸根闕陋不具足者不取正覺。

釈云 問浄土之意或立聖道浄土之二教或云『往生成仏一門』。若於弥陀本願一言有成仏之言者无聖道浄土差別无成仏往生殊異。然安樂集立二身二土更无三身三土等之教相。此之義云何通釈矣。

答云今言成仏者敢非濁世八相等之成仏。即隔時之成仏。往生已後之得果。何以故。凡弥陀本願三經大意者如云一發心已後誓畢此生無有退轉。唯以淨土為期。但就安樂集而今言立一身一土者此事更叵得意。今对娑婆極樂一土。对釈迦弥陀二仏者釈迦穢土教主弥陀安樂之能化。因此穢土之釈迦之勸生彼淨土之弥陀之國也。此自娑婆至極樂之教相也。凡論仏身者娑婆所厭之處極樂所致之處所期者三身也。故云證法性常樂云長時起行果極菩提。皆是所期者法身也。若不期法性真如諸法實相者魔事也。是非仏法。是非大乘也。若言是非魔事一仏法也。大乘之者必可禮三身。故云法性真如海。法性真如海者即法身也。坐時即得无生忍者證法身理也。故礼法報応三身也。諸根闕陋者有三義。一者非有漏之諸根。若人唱弥陀名号期無生者終是具足實相諸根者也。二者唱弥陀名号期往生者終生彼實相報土。全非根闕之者。云女人及根缺二乘種不生即是也。

頌曰

若人聞レ名欲ニ往生ニ
乃至得レ成ニ仏道ニ時
不レ断ニ煩惱ニ淨ニ諸根ニ
具ニ足ニ 實相身諸根ニ

○第四十二不決定意願

經云設我得仏他方国土菩薩衆聞我名字皆悉速得清淨解脱三昧住是三昧一發意願供養无量不可思議諸仏世尊而不決定意。若不爾者不取正覺。』

釈云聞名者他方国土菩薩衆聞弥陀名号。定現身得三昧。散臨終得三昧。今言速者獲也。得者證也。清淨者無染無惑義也。解脱者无生忍也。得忍之後雖遊歷諸仏国供養無量億如來住不動定意後而不

失不動三昧也。

頌曰

他方国土菩薩衆 若聞彌陀願名号

供養无量諸世尊 不レ失不動三昧定

○第四十三心*30得尊貴願

經云設我得仏他方国土諸菩薩衆聞我名字壽終之後生尊貴家若不爾者不取正覺。

釈云 問。聞*31彌陀名号_ヲ信行_者可_レ往_ニ生淨土_ニ。何_ソ云_ニ生尊貴家_ト乎。答曰修_ニ行彌陀本願_ニ者有_ニ二種往

生_一。一者順次往生_{是即本願} 正意也。二生往生_{是即宿善} 若人聞_ニ彌陀名号_ヲ乍_ニ修行_ニ因_ニ人中天上執心深_ニ故不_レ遂_ニ順次

往生_者或生_ニ天上梵王帝釈家_{自_リ其家_ニ遂_ニ往生_一或生_ニ人中長者居士婆羅門家_{至_ニ乃_ニ金銀銅鉄勝帝王家_{自_リ彼}}}

自在_ニ遂_ニ往生極樂願望_ニ也。故生尊貴家者指_ニ彼等善根之家_ヲ也。

頌曰

若人不_レ遂_ニ往生_ニ者 即生_ニ尊貴_ニ得_ニ福財_一

第二生必得_ニ正念_ニ 決定往生得_ニ大悟_一

○第四十四具足德本願

經云設我得仏他方国土諸菩薩衆聞我名字歡喜踊躍修菩薩行具足德本若不爾者不取正覺。

釈云他方*32菩薩聞_ニ彌陀名号_ヲ起_レ信修行歡喜踊躍往生已後行無_レ不_レ修善無_レ不_レ得具足_ニ修_ニ功德本_一也。

問云云然者修_ニ万行_一。豈非_ニ雜行_ニ哉。若言_ニ雜行_一者何第十八願廢_ニ諸行_一但以_ニ念仏_一為_ニ本願_一哉。

答就^テ此有^ニ二義^一。一^{ニハ}菩薩行者大乘行也。然念^ハ仏即^レ『二藏^ノ中^{ニハ}菩薩藏二教^ノ中^{ニハ}頓教也。』二^{〇ニハ}者^〇*33德本者名号也。即所^レ帰^ル万德具^ニ足^ニ三十六義^一故也。

頌曰

他方国土菩薩衆 聞^レ名歡喜修^ニ大行^一

具足德本是大行 三十六義円融故

○第四十五常見諸仏願

經云設我得^レ仏他方国土諸菩薩衆聞我名字皆悉速得^ニ普等三昧住^一是三昧至于成^レ仏常見無量不可思議一切諸仏若不爾者不取^ニ正覺^一。

釈云普等*34三昧者正受三昧也。三昧者名^ニ見^ニ仏^一。若^レ人得^ニ正受三昧^一見^ルニ十方諸仏^一如^ニ晴夜見^レ星^一。

頌曰

他方国土菩薩衆 聞^レ名速^ニ得^ニ普三昧^一

若得^ニ正受三昧^一者 常見^ニ十方一切^一仏

○第四十六隨願聞法願

經云設我得^レ仏國中菩薩隨其志願所欲聞法自然得^レ聞若不爾者不取^ニ正覺^一。

釈云前願*35明^ニ他方菩薩得^レ忍見^レ仏利益^一。此願明^ニ自國菩薩聞^レ法利益^一。問云法華經云^ニ一聞法華經決定成

菩提^一。然彼國菩薩隨^レ願聞^レ法者聞^ニ何法^一得^ニ何益^一乎。答云彼因^ニ聞法功德^一當來可^レ成^ニ菩提^一。此必

夜六時聞^ニ円頓之法音^一證^ニ得^ニ無漏之勝益^一也。

頌曰

極樂國中諸莊嚴 水鳥樹木常說法

其法円頓実相義 聞者自然諸善根

○第四十七住不退轉願

經云設我得他方国土諸菩薩衆聞我名字不即得至不退轉者不取正覺。

釈云前願明「國中菩薩聞法之益」。今此願明「他方」菩薩聞「弥陀」名号「得」金剛不退之證位上。

頌曰

他方菩薩聞名喜 即至金剛不退位

聞法利益日増進 還施化他慈悲門

○第四十八得三法忍願

經云設我得他方国土諸菩薩衆聞我名字不即得至第一第二第三法忍於諸佛法不能即得不退轉者不取正覺。

釈云 問此*36願者四十八願終也。何不_レ舉_二自國聖衆得益_一舉_二他方菩薩得益_一乎。 答云他國者「有淨土

有穢土」。或淨土菩薩得自在神力至極樂世界聞「弥陀」名号「秘」本國勝位「弘」極樂聞法之利益。或穢土

菩薩樂生「安樂」悟聞法不思議功德。凡他方者所化國也。舉他方利益以為功德。

問見大經上卷末說「六根清淨益處上見寶樹」者證得三法忍。今此願何明他方菩薩聞名号得_二三法忍上_一。

此如何通釈。 答云彼明「寶樹形說之道理」。此教主化他功德也。 問云三法忍者何者乎。 答云經云一

者音響忍。二者柔順忍。三者无生法忍是也。就_レ是有_二三義_一。一云觀經上品上生文云光「明宝林演說妙法

聞已即悟無生法忍云。今以彼經按此經。明二信。弥陀五智。稱二名号。二者更不待。彼得益。臨終乘二金台。之時得二无生忍。一坐時。時即得无生忍。是也。然不信二五智。修二雜行。者至レ彼之時華合。譬如處胎內。住中宮殿上。然疑障滅。後見宝樹。聞妙法。得レ忍也。若依此義。是依漸教後分意。判レ此者也。音響忍初二三地。柔順忍者四五六地。无生忍者七八九地。二依実義云也。*37縱言坐時即得无生忍。為レ弘彼國依正德。明下重毎レ聞レ法得レ益功德上也。音響忍者聞レ弥陀宣唱之深法。悟二无生法忍。故立レ此名也。柔順忍者蒙二光觸。聞レ說法。悟二无生法忍。故立レ此稱。无生法忍者悟二法身究竟之理。色法始不レ生本有之色也。空法始不レ生本有之空。悟二此理。故名二无生法忍。指二一心之性相。名為二忍智。但是於二无生之一忍。立二三忍稱也。

我建超世願等之十一行偈者。拳二本願之流通也。其義如別紙狀也。

頌曰

極樂世界常威儀 依正二報皆說法

見色聞法得二三忍 音響柔順无生忍

夫以*38弥陀本願者。人中之目。是天上之骨髓也。願往生之人。誰不依憑哉。彼在世之韋提者。因於禁苦。厭娑婆。依於見仏。悟二无生。華嚴云。念仏三昧。必見仏。觀經云。以見諸仏。故名念仏三昧。計知。夫人見二安樂能人。得二弥陀本願。念仏三昧一人。來世之凡夫者。聞於本願。發於三心。臨終見仏之時。心悟二念仏三昧者也。在世來世雖レ異。願生安樂心一心也。矧云。若仏滅後諸衆生等。我等何作卑下。嗚呼不レ圖有御詔。懃承諾無レ所。于故障。仍焚二沈水香於三尊前。請二加被於二尊願。当夜有二高僧。現二夢枕。告云。予是沙門善導也。

因^テ汝^カ信心深重^{ナルニ}。今來命^テ汝^ニ。自^レ今已後措^ニ定名義教相^ヲ。一^ニ以^テ三藏^ニ法輪^ヲ。一^ニ定^ス判淨土宗^上。更^ニ以^テ余相承戒儀^ヲ。可^レ授^ニ有心之道俗^ニ。敢^レ勿^レ依^レ先來教相^ニ。爰^ニ愚身夢寤^テ後異香貽^ニ於草菴^ニ。聖容若^レ存^{スルカ}。于^レ時悲喜滿^ニ內心^ニ。落淚隣^ル外儀^ニ。自^レ爾已來聞^テ難易聖淨之名目^ヲ。就^ク三藏三輪之教相^ニ焉。今此義疏者功^ハ非^ス余愚作^ニ。是京大師之伝給説也。賢者一見後勿^レ令^ニ他見^ニ矣。

于^レ時建曆辛未二月八日

正月二十一日御札。同二十三日到來。抑就淨土宗元意^ニ御不審少々記給畢。』因^レ茲^ニ以^テ愚意^ヲ拙答令^レ進^レ之^ヲ候之處也。又四十八願義疏依^レ仰立^ニ其名^ヲ。巨細事等申^ニ含御使^ニ候畢。恐々謹言。

二月初八日

沙門源空

弥勒菩薩御檀前

先日所^レ令^レ申付^ニ淨土宗不審^ニ愚問難多々^{ナリ}。及^レ見^ニ賢答^ヲ鬱念立^{トコロニ}散候畢。又本願義疏偏如^レ謁^ニ光明院^ノ。大師深銘^ニ肝腑^ニ為^レ悅^レ不^レ少恐々謹言。

三月十三日

沙門貞慶

勢至菩薩御禪室

弥陀本願義疏

大勢至菩薩經云 衆生有^ニ五過^ニ即生^ニ惡道^ニ。何等為^レ五。一者不淨說法。二者出家還俗。三者無智受^ニ信施^ニ。四者以^ニ平形念珠^ヲ念仏。五者超越^ト次第論^ニ念珠^ヲ。依^レ此等科^ニ流^ニ轉惡道^ニ。一不淨說法者或飲酒不^レ過^ニ一

宿^ツ而入^レ道場^ニ。或行^レ姪^ツ不^レ浴^セ淨水^ニ直入^レ道場^ニ。不^レ用^ニ開眼^ヲ。或不^レ用^ニ神分^ヲ。若如^レ是說者其仏即盲目^{ナレハ}亡者墮^ニ地獄^ニ。修善孝子並聽聞隨喜人皆墮^ニ地獄^ニ。一出家還俗者其科過^ニ五逆^一。設利^シ下益^{ストモ}燒^ニ恒沙堂^ヲ人^{ナリ}不^レ利^{ハナリ}還俗人^一。二无智受^ニ信施^ヲ者羅刹吸^ニ其氣^ヲ獄卒惱^レ神^ヲ。四以^ニ平形念珠^一者皆是外道弟子也。非^ニ我弟子^一。仏弟子我遺弟必可^レ用^ニ円形念珠^ヲ。五超越次第者因^ニ妄語之罪^一必墮^ニ地獄^一矣。

『弥陀本願義疏』

湖東
金剛窟藏

【注】

- *1 (頭注) 止恐形誤。当_レ作_レ上。
- *2 (頭注) 付正下至_二通分也_一、_二積五_一(廿五右)引。※積は聖覺『四十八願積』を指す。
- *3 (頭注) 相字、下恐脱_二名字_一。
- *4 (頭注) 故日之中間恐脱_二白字_一。
- *5 (頭注) 八万下至_二願也_一、四千下至_二願言_一、_二積五_一(廿五左)引。
- *6 (頭注) 譬如下至_二光現_一、_二積一_一(十一左)引。
- *7 (頭注) 而恐形誤。当_レ作_レ面。
- *8 (頭注) 三界下至_二四域_一、_二積一_一(廿七右)引。
- *9 (頭注) 然安下至故也、_二積一_一(廿九右)引。
- *10 (頭注) 夫共不三字古本所_レ无。衍文可_レ知。
- *11 (頭注) 燈恐形誤。当_レ作_レ澄。
- *12 (頭注) 凡言下至_二十方_一、_二積一_一(卅五右)引。
- *13 (頭注) 見此下至_二謗法也_一、_二積二_一(十八左)引。
- *14 (頭注) 隣恐形誤。当_レ作_レ且。
- *15 (頭注) 私云下至者也、_二積二_一(廿九左)引。
- *16 (頭注) 問曰下至_二紙積_一六十五字■(※鱗形)存略。

- *17 (頭注) 具真実三字緊要原本皆脱。古本為正。
- *18 (頭注) 心恐形誤。当レ作レ也。
- *19 (頭注) 為一一諸本脱一。古本為レ正。
- *20 (頭注) 今生下至人哉。今言下至三本矣。积三(六左)引。
- *21 (頭注) 此經下至此德也、积三(十左)引。
- *22 (頭注) 那羅延下至身乎、积三(廿右)引。
- *23 (頭注) 力当作レ身。
- *24 (頭注) 道場下至里焉、积三(廿四左)引。
- *25 (頭注) 窟恐形誤。当レ作レ窟。州当レ作レ洲。界当レ作レ海。机当レ作レ楓。窟当レ作レ窟。
- *26 (頭注) 遂荘恐形誤当レ作レ蒙光。
- *27 (頭注) 此有下至是處、积四(十左)引。
- *28 (頭注) 作恐形誤。当レ作レ化。
- *29 (頭注) 癡惑以下至二身二百八十六字△本所脱。今以□○二本補之。
- *30 (頭注) 心恐形誤。当レ作レ必。
- *31 (頭注) 問聞下至二家也、积五(十三右)引。
- *32 (頭注) 他方下至二義故、积五(十四左)引。
- *33 (頭注) 也。二者他本皆無。古本為レ正。

*41 *40 *39 *38 *37 *36 *35 *34

(頭注) 普等下至見星、釈五(十六左)引。

(頭注) 前願下至諸根淨、釈五(十九左)引。

(頭注) 問此下至无生忍、釈五(廿三右)以下引。

(頭注) 也当_レ作_レ之。

(頭注) 夫以下至八日、釈五(廿四左)引。

(頭注) 隣恐形誤。当_レ作_レ溢。

(墨書) 功_{三本}作_レ即。

(頭注) 院_レ作_レ寺。